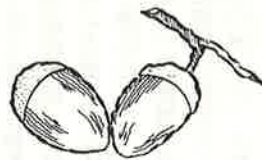




編集発行
羽津北小学校
PTA広報部
印刷
阿竹印刷工業株

第 31 号



今年は本校創立五周年に当たり
ます。これを記念して有志の方々
から壮大な陶壁（写真上）が贈ら
れました。この間のいきさつにつ
いて荒木会長から、また陶壁を制
作して下さった郷土の陶芸家・清
水洋、堀野証嗣の両氏から、その意
味するところ、制作上の苦労など
について一文を寄せて頂きました。

5周年記念陶壁、完成!!

PTA会長 荒木 正一

羽津北小学校も開校満
五年を迎え、懸案になって
いました図工室等の特別
校舎も全て完成しました。
これ一重に会員各位のご
協力と、開校以来の役員
各位のご努力の賜ものと
厚く御礼を申し上げます、今
後尚一層のご支援を賜わ
りますようお願いを致し
ます。

そこで、この度先輩役
員の方々より、五周年の
記念に陶壁を寄贈しては
しとのお話を頂き、早々、
開校以来お世話になりま

した役員諸氏にお願いを致しまし
て、準備に取りかかりました。地
元の陶芸家清水先生と堀野先生に
大変な協力とご指導を頂きまし
て完成致しました。

陶壁制作には、現本部役員も参
加をして、慣れない手付きで粘土
を切ったり貼り付けたりしました。
森林（子供たち）に太陽がまぶ
しく差し込んで、樹木（子供たち）
が生き生きと成長していく様子を
描いた立派な陶壁です。題も「陽
光」と名付けられました。

今後十周年、百周年と羽津北小
学校が歴史を積み重ね、素晴らしい
学校に成長する様お祈り致します。

清水洋氏。昭和十九年四日市に生まれる。昭
和三十五年、「現代陶芸展」に入選を始め各種
の陶芸展に入選、現在に至る。



羽津北小創立五周年事業の一環
として、陶壁の製作依頼を受け、
造らせて頂きましたことを喜んで
おります。関係者の皆様や役員の方
々の御協力に、紙面をお借りし
てお礼申し上げます。



製作につきましては、日数の制
限があり、作業の内容に苦慮しま
したが、多くの方々にお手伝い
を

お願いし、各人一枚単位で製作し
たものを、私達一人で手直ししな
がら進めてまいりました。それぞ
れの個性が一枚一枚の陶壁に残つ

陶壁に寄せて

てあり、全体の組合せが完了した
際に、「ここは自分が造った」、「あ
そこはあなたが...」、さらに「この
部分は仕事が精巧だ」等々、話が

はずみ、製作時を振り返って楽し
く過ごしました。

デザインについては、永年使用
する建物であること、飽きのこ
ないこと、乾燥しやすいこと、さら
に、広い面であるから立体部分を
多く使う、子供達の未来を取り入
れる等の条件を考え、二人で打合
せを重ねて構図が出
来ました。焼成には、
八幡窯（堀野）の大
きな窯（二二〇cm）が空間のないほど
一杯に詰め、摂氏二二五〇度で四
〇時間かけ、赤伴維保（灰釉）を
使上して焼上げました。

製作中に新聞社に知られること
ろとなり、取材の申し込みがあつ
て大きく報道され、多くの反響に
喜んであります。

堀野証嗣氏。昭和二十四年四日市に生まれる。
昭和四十三年「朝日陶芸展」受賞を始め各種
の工芸展に入選、現在に至る。

本校PTAは、PTA活動が少しでも多くの会員のものになるようにと地区懇談会を行って、皆さんの意見・要望を拝聴しています。今年も、マンネリ化打破の試みを加えながら、六月末から七月始めにかけて、各地区で実施しました。参加状況は様々で、100パーセントに近い出席率を誇る地区もあれば、正直なところ、主催者側ががっかりするような地区もありました。

今年は、予めテーマ(校則について)を設定し、事前に資料を配布して行ってみました。このやり方に対する参加者の反応は、もう一つはつきりしません。始めての試みだからとまどいがあったのだらう。「勝手に納得し」、「つまりない」、「やめてしまえ」という否定的な意見がなかつたことを根拠におおむね受け入れられたものと考えています。

変わらぬ通学路への不満 地区の繪畫性に欠ける!!

今年も通学路に関する意見は多くの地区から出され、その中には現通学路に替わる内容の提案もありました。しかし、それらの意見は、「我が子にとって不便である」ということで、地区の子供全員にとつてどうなのかという観点から希薄なように思われます。現通学路は、地区の子供全員を考慮して、相対的に安全な道路が、しかも地区

の親の推薦を得て決められています。このような事情を理解して下さるようお願いいたします。ただ現通学路が絶対に変更不可能というわけではありません。交通事情の変遷等を考慮し、より一層の安全を求めて、通学路の変更されることがあり、別名六丁目の一部で実現しています。

その他、「横断旗を持たない」とか、「集合時間に遅れる」等の意見がありました。これらについては、学校側で指導して頂くようになりますが、同時に各家庭でも、日常的に注意・指導して下さいようお願いいたします。

要求は懇長へ

懇談会とはいいながら、陳情大会の趣無きにしてもあらずでした。切実な要望ばかりとは言え、その場で即答することは必ずしも簡単ではありません。まわりの了解を取る必要もありますし、調整を必要とするところもあります。

「納得のいく答が得られない」とすく諦めてしまうのではなく、息長く要求していく必要があるのではないのでしょうか。

以下に、主な要望とそれに対する回答・見解を紹介します。

6回目を迎えた地区懇談会

テーマ設定はいかがでしたか?



資料に目を通し、談笑する参加者

★登下校時の痴漢対策は、どうなつていますか。

〈回答〉四日市北警察にパトロールを依頼、実行中ですが、現在つかまつておりません。不信な人を見たらすぐに人相、特徴等を御番してください。又、学校としても、

下校時には時々パトロールをしております。

★あいさつ運動は現在どのようになつていますか。

〈回答〉現在運動中です。子供たちも学校内ではかなりあいさつが出来るようになりましたが、まだ

家庭へ戻りますと駄目な子が多いようですので、今年度の予算に計上しました看板を制作致しまして、地域の各所へ取り付けを計画中です。

★遊具として一輪車を置いてほしい。また鼓笛隊を作れないか。

〈回答〉PTA役員会内部の意志統一がまだ十分できていません。また学校側との調整も必要であ

り、引続き検討していきたいと思ひます。

★立旗はなくなりましたが、月一回位集合場所へ出て指導したら?。

〈回答〉現在は班別で集団登校しているの、月一回といつても全班をみなければならず、以前に比べて大変になつています。また不幸にして事故に遭遇したとき、民事上の責任を追求される可能性もありますので、PTAとしては立旗を廃止しています。

その他、

★四時が下校(全児童が帰宅時間)となつていますが、以後子供達を残す時は職員室で分かるようにしてほしい。

等々です。これらに対する学校側の回答は、別刷とじ込みにまとめられています。

な話題の出る地区、そうでない地区いろいろでした。内容については再検討をし、また、質疑事項を事前にとりまとめておく必要を痛感しました。その場で意見や質問をと催促されても出ないし、学

校側も予想しない問題に即答できないこともあります。例えば、別

地区懇談に思う 学校長 伴好

連日の懇談会では、荒木会長をはじめ、本部・地区の役員、出席された会員の方々に大変ご苦労をおかけしました。

各地区の出席率は、二割から九割と差があり、伝統的に固定化しているように思われました。活発

名六丁目の通学路についての要望は以前からあり、学校としては、別のルートでの安全度や距離等を調

べて意見を述べることができません。根拠もなく独断で安請け合ひしては支障が生ずることもあります。何かを実施するときには、時間、労力、経費、効果等を考える必要があるからです。しかし、拒否的な回答や善処、検討するという回答では質問者は満足しません。

また、学校の実情が知られていないことも多いと思ひました。学校教育についての御意見や御質疑は地区懇の場に限らず承

ります。内容は具体的に。ただ、必ず氏名も付け加えていただきた

「けやき」をPTA会員の「コミュニケーション」の場へ！

前広報部長 富井 利尚

四日市より転出して、早や一ヶ月。子供達も新しい学校へ元気に通い始め、私も毎朝の満員電車に慣れる頃となりました。

本部役員として二年目、広報を担当して「けやき三十号」を発刊した直後の急な転勤であり、会員皆様にも多大な迷惑をおかけした事をお詫び致します。

さて、「けやき」についてですが、『広報紙は、全会員の「コミュニケーション」の場とすべきである』が私の認識です。PTAの様に会員様互が顔を合わす機会の少ない組織では、紙面を活用しての意見交換・情報交換が組織活動の活性化・エネルギーとなるのではないのでしょうか。

理想を追えば、発行回数を増やし、紙面を拡大して、全会員の意見・主張を掲載すべきでしょうが、現状では不可能であると言わざるを得ません。

この様な状況の中で、前号発行前に会員各位へ投稿依頼したところ、多数の意見を寄せていただきました。

この内、一部については既に掲載しておりますし、未掲載分についても順次紹介していくことになっております。

今後は、全員への投稿依頼を行

わなくとも広報紙を読んだ時、又、日常心と感じた事柄等を気軽に筆をとっていただき、率直な意見を寄せていただけないでしょうか。

この意見の寄せ合いが徐々に会員相互の「コミュニケーション」を良くし、紙上での討論となつて、必ずや羽津北小PTA活動の活性化の原動力となることと確信しております。

理想論めいた事を長々と申し上げましたが、広報部を中心として全会員で紙面の充実を計られること、並びに羽津北小PTA会員各位の益々のご発展をお祈り申し上げます。

学級懇談会について

本部役員が忙しい中を、何度となく足を運び懇談会を開き、テーマを決め、懇談会を開いてもいつも限られた人が10人前後しか集まらない。テーマに従って話し合いをしても皆さんの前では、本音はなかなか話してくいもので、結局は普段、御近所の人といつも話をしている内容と同じような話題で終わってしまうように思います。

このような懇談会であるならば今後、授業参観のみで終わりにした方がよいのではないかと思います。プライベートなお話があれば、学校の相談窓口を大いに利用して解決するように呼びかける方法が効果的かと思えますが。

PTA行事について

いろいろな行事の中で一般参加の少ない行事は、再考してはどうか。各部で実績をつくるだけの行事では意味がないのでは…と思つ。西観学級の時の講演会は、今後も続けてほしい。



通学路についてその1

南いかるがからの通学路ですが、「ヤダ」という喫茶店の横にある自動販売機をなくしてほしいと思います。子供が毎日通学する所に、ふさわしくない本をわざわざ設置することはないと思います。是非お願いします。

通学路についてその2

一年生の母親です。通学路が決まっている様ですが、いつもの道だとすぐく大回りになるのですが、内山冷菓の所より右へすまわつて幼稚園の前より帰宅させてほしいと思つますが…。最近では理髪店の前を通り、てんぐすしの所を帰ってくる様で、この前見ていたら、その時にかぎつて、車が次から次とくるのであぶないと思つ、つい迎えにでてしまいました。できる事でしたら、内山冷菓の所より帰宅させてほしいと思つます。歩道になつているので、まだ安全だと思つます。

親のねがい

今年から、初めて小学校に長男が入りました。ですから、学校の事は何もわからず、親子共々「あつ」と言う間にこの二ヶ月が過ぎてしまいました。子供には、ただ学校が嫌いにならずに、毎日元気に登校してくれたら、それだけでよいと思つております。

わが子よ、たくましく育て〜

通学路についてその3

私達親子が、4年前に引越してきた時のことですが、道を渡る時に、自動車がかまつてくれて、子供達が渡り終わった時、子供達が、ぼつしを脱いで大きな声で、「ありがとう。」といつて礼をしていました。その時、私はびつくり、なんとさわやかで、礼儀正しいのかなと思つましたが、最近そういう姿を見ません。がっかりです。自分の子供もそんなのかなあと、気になりました。やっぱり、親・先生・高学年の子供がお手本を見せないとね。また、さわやかで、大きな声をききたいね。運転している人も、にこりしてくれよう。

子供の挨拶・しつけ

仕事に出ていく頃は分からないのですが、近所の子、通学団の子に、大人たちは声をかけているのでしょうか。自分の家だけで、なかなかしつけをすることは難しく、地域が、子供を育てると思つます。「おはよう」「あぶないよ」…等の一声で、地域全体の子をよい子に育てたいものだと思います。



「声のひろば」への投稿募集中!

「けやき」は「声のひろば」への投稿を募集中です。原稿は、お子さんを通して学校にお届けください。無記名で結構です。学年だけお書きください。



“待望の新校舎完成”

去年の冬から始められた増築工事も終わり、これで、羽津北小学校の校舎は全て出来あがったことになりました。

移転作業も、夏休み中に無事終わり、一学期から子どもたちも使えることになり喜んでいきます。新校舎は、次のとおりです。

新校舎完成

三階 視聴覚室

16ミリ映写機、スライド、映写機、大型テレビが設備されています。

二階 図書室

低学年、高学年に分かれ、低学年用にはじょうたんが敷いてあります。

一階 図工室

【広い机の上で作業】が出来ます



シャトルを相手コートへ

運動不足解消

秋にもどうぞ!!

六月二十一日(日)、約60名の参加者でPTA親睦行事としてインディアカ競技大会が行なわれました。

大会当日に備えて、二回の練習日を設けました。夜七時より九時まで出かけるに、くい時間にもかわからず、二十数名の出席で、汗をにじませ、ルールなどを教わりました。

当日は午前九時より体育館にて、いよいよ試合開始。先生方、並びにPTA会員の参加者の半数が初心者にもかかわらず、なかなかの好プレー続出

おみやげににんまり!? 名実共に収穫多い社会見学

六月一日、お天気に恵まれ、五十四名もの方々が参加して下さいました。ダイヤパンは「親子で共通の話題ができたら…」と思い、他の三カ所は「ほんもの」を見ていただくかと思つて計画しました。行く先々で見学時間がオーバーしてしまい予定の時間に帰れなかつたことが大きな反省点だと思います。参加者全員に求めたアンケートには貴重な意見や感想が沢山寄せられました。早速、各企業宛にそれぞれの関係分を送らせていただきます。特に石けんに関する

意見は多く、これを機会に天然の石けんを見直していただけたらと思ひました。

バスの中の雰囲気はとても良く、皆さんの「楽しくしよう」という気持ちが伝わってきました。

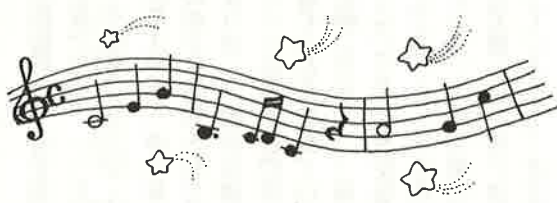
今回の社会見学は、参加して下さった方々はもちろんのこと、部員さん、先生方、そして迎えて下さった企業の皆さん、すべての暖かい思いやりのお陰で無事に終えることができたと思ひます。ありがとうございました。

でした。

一チーム四人制でバドミントンのコートを使います。初めての私にも身近になじめるスポーツであったと思ひます。特別、時間をさいてスポーツをする機会にも恵まれます、少々運動不足のこの頃、楽しい一日をすごすことができました。PTAの親睦行事例として、より多くの参加者を御願ひし、第一回目の開催を希望します。

近況報告

元気な赤ちゃんを！
◆鈴木真佐子先生(二年組)代わりです
よろしく！
興相尚子先生



これまでの行事

- 5周年記念行事 (六月七日)
- 救急実技講習会 (七月九日)
- 地区懇談会 (八月二十四日～七月三日)
- 紙粘土教室 (七月二十七日)
- 環境整備作業 (九月六日)

編集後記

★広報部長・富井さんが職場の都合で、役員を離れるのやむ無きに至りました(二面に本人の手記あり)。ピンチヒッターとして登場したのが、自称広報のベテラン(〇〇)。「何の因果でこの私が」とぼやきながらも、一昨年、昨年とは一味違った紙面にすべく思案中の毎日です。

★創立五周年を記念して寄贈された陶壁が、正面玄関に飾られています。縦横三メートルを越す壮大なものです。制作に当たられた清水、堀野の両氏から制作にまつわる苦心談を披露して頂きました。★夏休み前に行われた地区懇談会では様々な要望が出されました。これに対するPTA本部としての見解と、学校側からの詳細な回答(別刷とじ込み)を掲載しました。

